

アメリカの明るい「日常」描き

「ノーマン・ロックウェル展」



㊤「待ちきれないなあ！」
油彩、キャンパス 1962.
Licensed by Norman
Rockwell Licensing,
Niles, I L

㊦「たくさん召し上がれ
(生活の自由)」©1945
SEPS



ガイド 7月11日まで。東京都府中市浅間町1の3（都立府中の森公園内）府中市美術館。☎042・336・3371。午前10時から午後5時（入館は午後4時30分まで）。月曜休。観覧料は一般600円、大高生300円、小中生150円。

アメリカの国民的な画家でイラストレーター、ノーマン・ロックウェル（1894～1978年）の展覧会が東京都府中市の府中市美術館で開かれている。市民の日常生活を軽快に描いた作品は、死後もなお愛され親しまれている。

どこかで見たような親しみ

感謝祭の日、テーブルを囲み七面鳥を待つ家族のうれしそうな姿の「たくさん召し上がれ」、家出した少年と警官の後ろ姿が愛らしい「家出」……。たとえ見ていなくてもどこかで見たような親しみを感じさせる。ロックウェルはそんな絵を数多く描いた。

「私は、こうあってほしいと思う生活を描いたのです」（ロックウェル）

仰々しいものではなく、庶民の日常の些細な出来事をモチーフにした。それが共感呼び世代や時代を超えて愛されているゆえんでもあるようだ。

ロックウェルはニューヨークに生まれ、美術学校で学んだ。仕事に恵まれ若くして頭角を現した。

1916年に人気週刊誌「サタデー・イブニング・ポスト」の表紙絵を描き、以後47年間もの長きにわたり描き続けた。さらに24年、ボーイスカウト・オブ・アメリカのカレンダーを制作。この仕事も半世紀に及んだ。こうした継続的な仕事もその名を広く知られることとなった。

ロックウェルの魅力について府中市美術館の志賀秀孝学芸係長は「世界で人気を博しているのは日常生活の何げない一瞬を、崇高なまでの人生の輝

きに昇華しえたからである」と説明する。

平穏な暮らしの「幸せ」

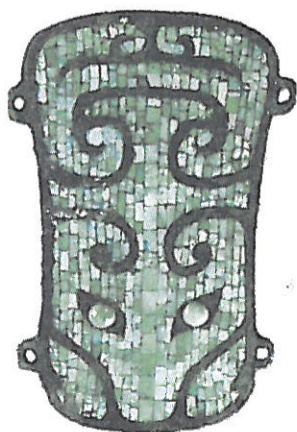
本展は2009年6月からフロリダ州やテキサス州などアメリカの4会場で開催され人気を集めた展覧会の巡回展。

展覧会はロックウェルの作品とともに写真家のケヴィン・リヴォーリ（1961年生まれ）の写真が展示されている。家族、記念日など現代アメリカの風景が写され、時代こそ違おうが、ロックウェルの作品と共鳴していて興味深い。

油彩、リトグラフなど35点で構成。会場に足を運ぶと、平穏な暮らしのありがたさ、幸せさを感じさせてくれる。

招待券プレゼント

特別展「誕生！中国文明」に10組



「動物紋飾板」前17～前16世紀 洛陽博物館蔵



「神獸」前6～前5世紀 河南省文物考古研究所蔵

東京国立博物館平成館（東京都台東区上野公園13の9、ハローダイヤル☎03・5777・8600）で特別展「誕生！中国文明」が7月6日から9月5日まで開かれます。EXは10組20名を招待します。

黄河中流域に位置し中国王朝発祥の地とされる河南省で出土した資料に焦点を当て、中国文明の誕生と発展の軌跡をたどる展覧会。本展では、王朝の権威を示す青銅器や玉器、高度な工芸技術を示す陶磁器や金銀器、宗教的世界を表す書画、彫刻など、最新の発掘成果を交えた約150件の名品を紹介。ダイナミックな変遷をみせる中国芸術の歴史を振り返ります。

午前9時30分から午後5時、金曜は午後8

時、土日祝は午後6時。月曜休。観覧料は一般1500円、大学生1200円、高校生900円。

ご希望の方は、はがきは裏面に、メールは題名に「中国文明」と記入した上で、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、職業をはがきは裏面に、メールは本文に記入してください。よろしければEXの感想も添えてください。締め切りは20日必着。応募は1人1通でお願いします。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

<はがき> 〒100-8078（住所不要）産経新聞社編集局EXPR E.S.Sプレゼント係

<メール> expresent@sankei.co.jpまで。

